

絵文字の感情表現の受け取り方の違いに関する研究

滝本研究室（インテリア・プロダクト分野）A20AB078 田盛優佳

1. 研究背景と研究目的

近年の絵文字によるコミュニケーションにおいて齟齬が生じたり、齟齬が加速するという点がある。齟齬が生じる原因として、ある絵文字がポジティブとネガティブな感情を同時に受け取れる場合に、齟齬が生まれるという仮説（図1）を考えた。

そこでこの研究では、そのような絵文字を特定し、共通点を見出すことによって、齟齬を防ぐ注意点を考えることを目的とする。

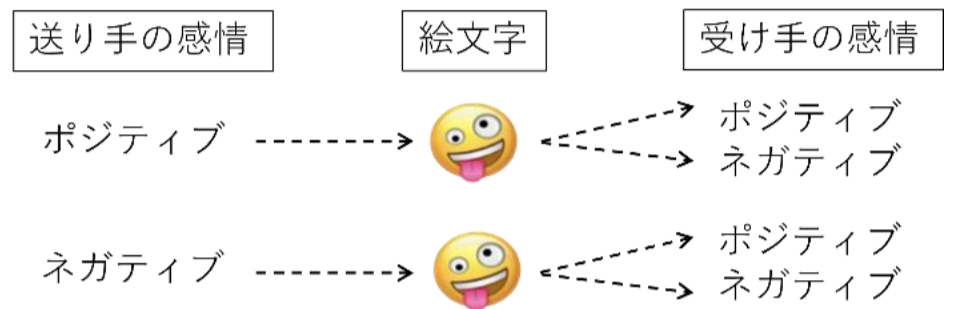


図1 絵文字の表す感情のベクトルが複数存在する

2. 研究方法

研究は3つの段階のアンケート（図2）に沿って行う。

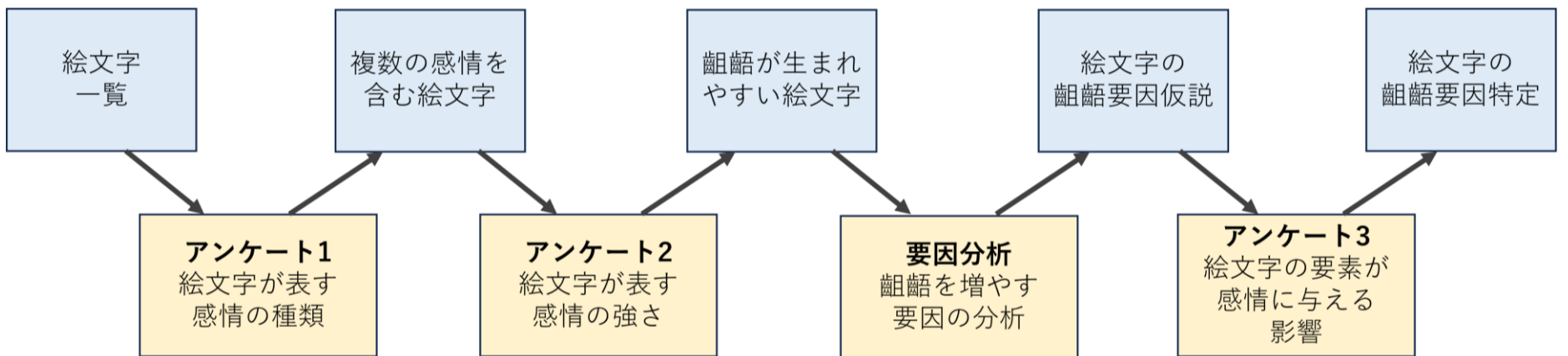


図2 研究の進め方

【アンケート1：複数の異なる意味合いを持つ絵文字の抽出】

絵文字の中からよく使うものを選択してもらい、その絵文字がどのような感情を表現しているかを記述してもらおう。

【アンケート2：齟齬が生じやすい絵文字の特定と齟齬を生む要因の抽出】

アンケート1で特定した絵文字に対して、受け取れる感情の程度を（-1～+3）の範囲で選択してもらおう。

【アンケート3：複数の異なる意味合いを持つ絵文字の抽出】

アンケート2で得られた絵文字に、標準的な眉毛、ほっぺ、口、記号を加え、表情を変更してアンケートを行う。

3. 結果

【齟齬が生まれやすい絵文字の抽出】 → 齟齬に影響する主要因は、眉毛/ほっぺ/口/記号と仮説をたてた。

- 齟齬が生まれやすい絵文字の共通点・・・目が特徴的/一般的、口が隠れている、眉毛がない
- 齟齬が生じない絵文字の共通点・・・ほっぺがある、目や口が笑っている

【絵文字における齟齬要因の詳細検証】 →絵文字の感情表現に対する支配的な要素を特定できた

■ 1位：記号

■ 2位：ほっぺ

■ 3位：口

記号の有無で、感情の伝わり方が大きく変わる

顔のパーツの中で、最もポジティブの割合を増やす効果がある

ほっぺの次に、ポジティブの割合を増やす効果がある

4. 齟齬要因の検証結果（一部）

■ ほっぺ・口/ほっぺ・記号が支配的な絵文字（図3）

※被験者 20 人

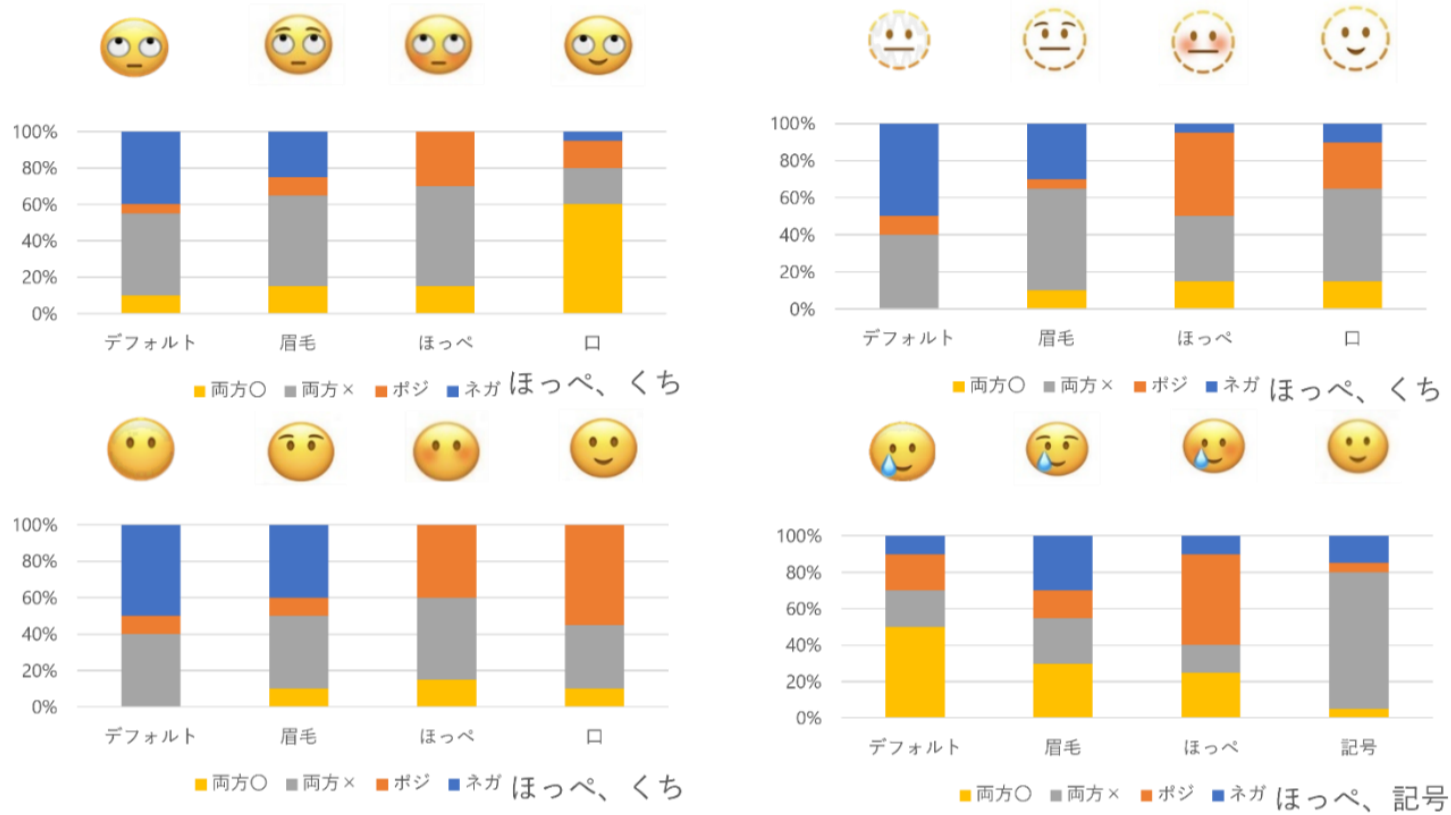


図3 絵文字を構成するパーツにおいて、ほっぺ/口/記号が重要な役割を果たしていることが示唆される

■ ほっぺが支配的な絵文字・口または眉毛が支配的な絵文字（図4）

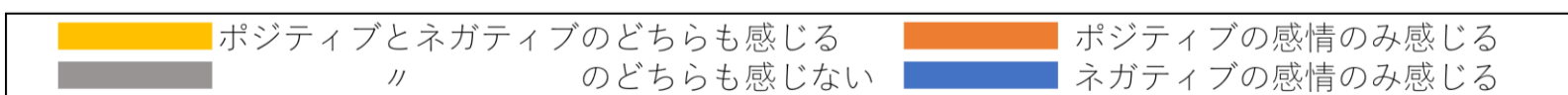
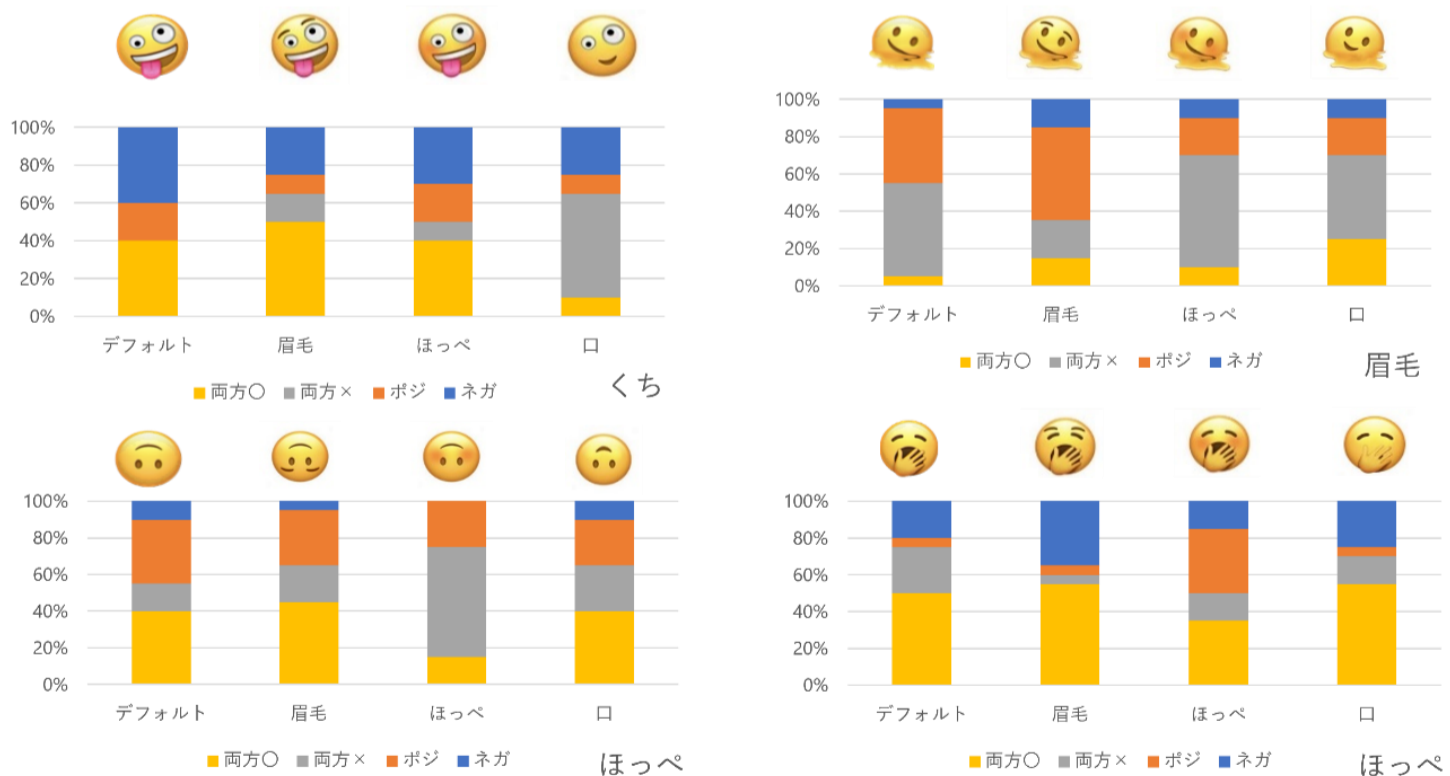


図4 口の形状が支配的な役割の場合、この口の表現が感情を特定する上で鍵となっている可能性がある
絵文字の使用において、特にほっぺと口に注意を払うことで感情の差異をより正確に伝えることができる。
そのため、感情に合った口やほっぺの形状を選んで使用することで、感情がより正確に伝えられる。